

# ごとう通信

第 260 号

令和 4 年 8 月 1 日

やはり暑い夏でしたね。予想通りではありますが、ちよつと今年はしんどいです。おそらく、全国的傾向だと思えますが、この 2 年のコロナで外出を控えており、暑さへの耐性が弱くなっていると思います。その傾向は今年も強くなっているところへ地球温暖化。ますます外出を控えて体力低下、室内でエアコンをつける、電気の需要がさらにアップする…といった負の連鎖を感じます。せめてコロナがもう少し落ち着いてくれれば涼しい時間帯、外でしっかり身体を動かしたいですね。

さて、先日、わが家で初の水のトラブルを経験しました。築 30 年以上

のマンションで、うちが入ったのがちょうど 10 年前。その知らせは突然でした。土曜日の朝、診療室に向かつて家を出ようとした瞬間に電話が鳴りました。

下の階の方から天井から水が漏れ出ているとのこと。と言われても、どう対処すればよいのかわからず、マンションの管理会社に連絡し、そこから水道修理業者に連絡してもらいお昼休みに来てもらうことになりました。当日は午後から神戸に出張予定だったので、それを遅らせて対応。

まずは場所の確認。といってもわが家は何も変わっていないので、下の階の漏水があった場所から推測して台所の排水が詰まっていることが判明。シンク下の棚を外すとやはり湿っていました。

ここからちよつと問題。土曜日ということ、いつもうちのマンションのメンテナンスをしている業者とは違う会社の方が臨時で来られ



ており、誰が修理するか問題。要は、かかりつけの歯医者はいるけど、休日に飛び込みで別の歯医者に入ってそこで診療するかどうかといった感じ。一刻も早く直してもらいたかったので、その日来た業者の方に直してもらいました。2 時間ほどの出来事でしたが、疲労困憊。マンション暮らしでは下の階の方と親しくしておくことも重要ですね。

水のトラブルのコマーシャルはよく見ますが、いざ、自分でなってみると本当に大変でした。定期メインテ